うめだより

院内広報誌
創刊号
平成27年8月

理　念

1. 人間愛にみちた医療をめざします
2. なにより質の良い医療の提供につとめます
3. 地域に根ざした病院でありつづけます

横浜東邦病院
院長　梅田嘉明

横浜東邦病院院長　梅田嘉明

新しい病院が完成しました。そこで思うことは、来院された患者様が「この病院はとても清潔だなぁー」しかも医師やナースをはじめ職員みんなに親近感がもてるなぁー」というような病院でありたいと思っております。皆様にご満足いただけるよう、みんなで頑張ってまいります。

横浜東邦病院副院長　横山圭子

この度、横浜東邦病院の歴史に新たな一ページが刻まれます。器のみならず、中身の一層の充実をはかる一環として、院内広報誌が創刊されました。患者さんへ向け、多岐に亘る話題や情報を季節毎に提供して参ります。どうぞご期待下さい。

整形外科医師　福士伸一郎

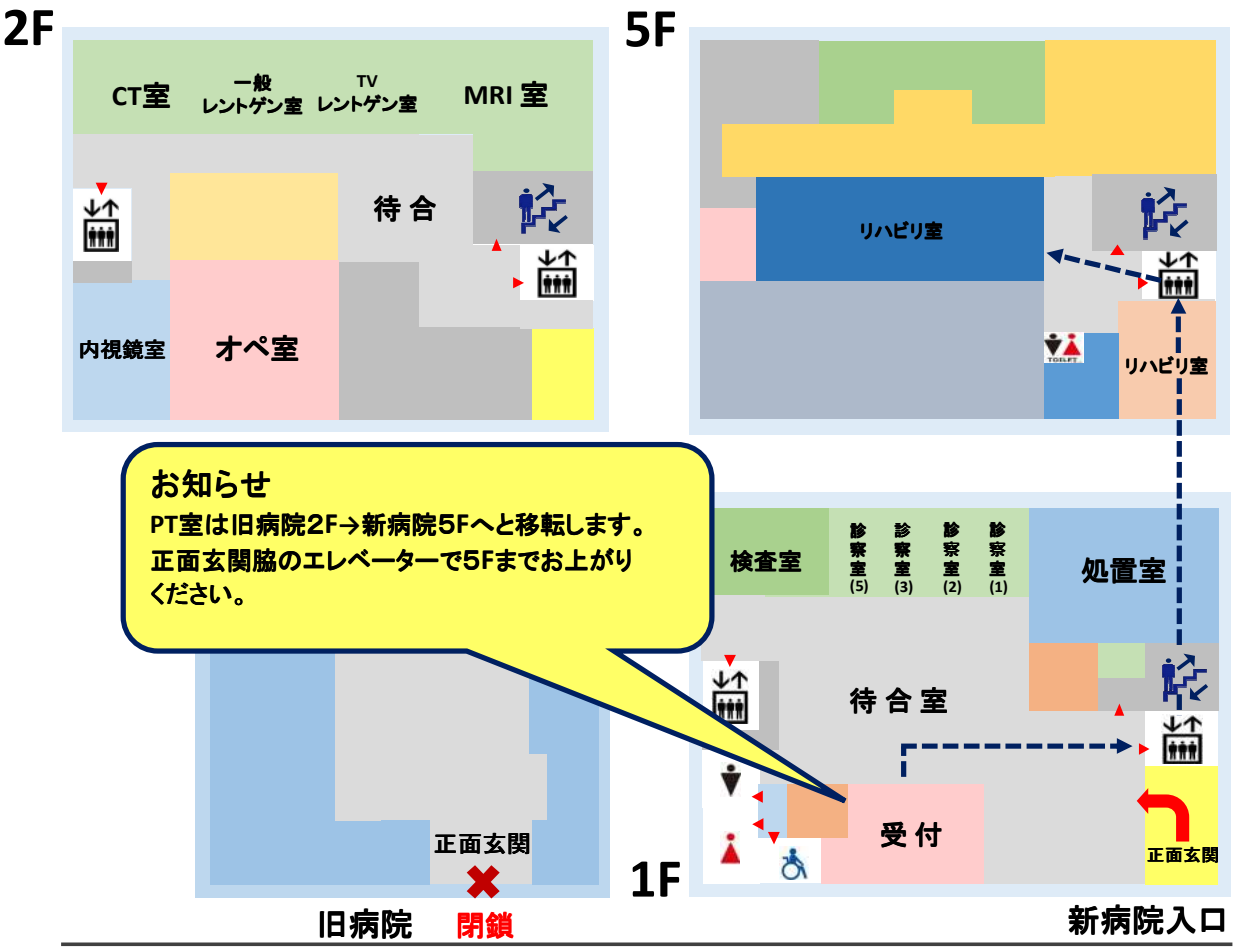
特別なことも、難しいこともできませんが、検査、診断、治療と普通のことを、普通に行い、困っている人の一助となります様に仕事をしてまいります。

泌尿器科医師　松本太郎

今度病院がリニューアルされ、今まで以上の設備で医療が提供可能となります。港南区内に泌尿器科が常設されている病院は少なく数える程しかありません。高度な検索や手術が可能な泌尿器科が少ないため、御利用になる患者様が集中します。予約をしていても尚、お待たせする時間が出来てしまうことがありますがご理解・ご協力の程、宜しくお願い致します。

横浜東邦病院
〒233-0008 横浜市港南区最戸1-3-16
TEL 045(741)2511　FAX 045(714)2520
URL : http://www.yokohama-toho.jp

新病院案内（９月～来年１月までとなります。）



今回は夏の「旬」の食材として「うなぎ」「南瓜」につきご紹介します。

栄養科より

「食事」が入院されている患者様の楽しみの一つになれるよう、
美味しくまた見た目からも楽しんでいただける食事を目指しています。

今月のレシピ

うざく（4人分）

うなぎの蒲焼	・・・ 80g
きゅうり	・・・ 120g
塩	・・・ 0.5g
砂糖	・・・ 12g
酢	・・・ 20g
薄口醤油	・・・ 2g

【作り方】
① うなぎは、一口大に切る。
② きゅうりは、輪切りにし塩でもみ水分をしぼる。
③砂糖・酢・薄口醤油で、合わせ酢を作る。
④ ③の合わせ酢で①と②を 和える。

うなぎは、豊富なたんぱく質、ビタミン、ミネラルを含むため、体力を消耗しやすい夏には欠かせない食品です。ビタミンA・B1も含まれておりビタミンB1は、神経や筋肉の働きを助ける役割もあります。

今月のレシピ

南瓜の冷たいポタージュ（4人分）

南瓜	・・・100g
たまねぎ	・・・1/2個
バター	・・・10g
固形ブイヨン	・・・1個
水	・・・200cc
豆乳	・・・200ml
塩・こしょう	・・・少々
パセリ	・・・適量

【材料】
①南瓜は1cm幅に、たまねぎは薄切りにする。
②鍋にバターを溶かし、たまねぎを透き通るまで炒め、南瓜を加える。ブイヨンと水を加えて、南瓜が柔らかくなるまで煮る。
③豆乳を加えて塩・こしょうで味を調える。冷めたらミキサーで撹拌し冷蔵庫で冷やす。
④仕上げに刻みパセリを散らす。

南瓜には、β－カロテンやビタミンA、ビタミンB1、ビタミンCなど、様々な栄養素が含まれています。老化防止のビタミンE、食物繊維も豊富に含んでいます。食物繊維とは、人間の消化酵素では消化されない難消化成分です。大腸がん、糖尿病、動脈硬化等様々な生活習慣病を予防するのに役立つ栄養素として注目されています。

放射線科よりお知らせ

MRI導入へ　平成27年8月31日（月）より

高画質な撮影　→　**正確**かつ**迅速**な診断に！

撮影**時間**の**短縮**化　→　検査**時間**の**短縮**へ！

騒音を大幅に**カット**　→　**受診**が**楽**に！

骨密度測定装置

骨密度の低下している人は増加傾向！

50歳以上の女性の3人に1人は

骨粗鬆症患者と言われています。

腰椎と大腿骨などの検査に対応し、

測定時間は5分ほどです。

早めの検査で身体の状態をしっかり把握しましょう。

接遇委員会より

当委員会では患者さんに少しでもご満足いただけるように患者さん目線での対応を行えるよう検討していく委員会です。設置しております意見箱に寄せられた貴重なご意見・ご要望に対してできるだけお応えする努力を行うつもりでおります。ご理解・ご協力の程宜しくお願い致します。

新入職員紹介

新入職員代表者の挨拶

坂本　剛

2月に入職しました坂本です。BlogやFacebookも担当していますので、皆様に楽しんで頂ける記事をお届けできるよう、頑張っていきます

▲後列左から　岡平弥生（看護師）・三上景子（看護師）
大澤彩子（看護師）・根津裕子（看護師）
住友順子（看護師）・石川まり子（看護師）
▲前列左から　藤井学（放射線技師）・増田慎（理学療法士）
坂本剛（事務員）

看護部より

病棟担当師長　尾崎　綾

こんにちは、病棟師長の尾崎です。現在看護師28名、看護助手11名で入院患者様の日常生活援助を担当しています。年齢、経験、個性共に39通り違いますが、毎日みんなで協力しながら業務を行っています。忙しそうでなかなか声をかけづらいと思うかも知れませんが、気さくなスタッフばかりです。気軽に声をかけてみて下さい。

外来担当師長補佐　江本千恵子

外来は診察室が4室に増え、処置室はこれまでよりも広く、プライバシーにも配慮できるようになりました。また待合室も広く心が和むような場所となり、再来受付機・自動精算機も設置され、スムーズに診療が進むようになります。外来看護師は患者様に寄り添い安心して医療を受けられるように看護を行っていきたいと思っています。

ワイズクリニックよりお知らせ

川の向こうに見える
この建物が
ワイズクリニックです。

理学療法士より

外来専門で運動指導などのリハビリを行っております。横浜東邦病院を受診の上お気軽にお越し下さい。

医事部より

リハビリは1回目は横浜東邦病院で行いますが2回目からはワイズクリニックでも行うことができます。その際変更希望の旨をお知らせ下さい。

横浜東邦病院看護助手より一言

ワイズクリニックは駅からも近く、お会計等もスムーズなので是非診療に行ってみて下さい。